

憧れを‘目標に’

「声優能力認定試験」で、まず自分の実力を知ろう！

声優は多くの人々の注目を集めていますが、技能や能力の評価を受ける機会や基準もありません。

従って何を学べば良いかも分からなくて、憧れのみが先行している人達も多いのではないかと思います。

当協会の認定試験は「声優」になるために必要な「話すこと」や「読むこと」、「演じること」の基本的な技能を5段階で評価致します。

そして声優になりたいという目標に向かって、努力を重ね、自分を磨き続ける、学習意欲の高揚を目的に実施しています。

声優になりたいあなた！まずは、下記の問題に挑戦してみて下さい。

朗読・ナレーションの例題につきましては、当協会のホームページをご確認下さい。「ごんぎつね」「坊ちゃん」などの朗読が出題されています。
来月からは「海がきこえる」「博士が愛した数式」「ハムレット」「星の王子様」「源氏物語」などが登場します。

声優能力認定試験 例題

3級 声優能力認定 課題 滑舌

問題 次の1～6の文章を、合計1分程度で、滑らかに読み下さい。

1 お綾や 母親に お謝り お綾や 八百屋に お謝り
2 菊桐 菊桐 三菊桐 合わせて菊桐 六菊桐
3 書写山の 社僧正
4 巢鴨 駒込 巢鴨 親鴨 子鴨 大鴨 小鴨
5 この杭の釘は 引ひぬき抜きにくい
6 京のなま鰯 奈良 なま学鰯

3級 声優能力認定 課題 声の使い分け

問題 次の1～6の文章を、合計2分程度で、指示された通りに読み下さい。

1 「どうなっているの」を次の①～③の感情を込めて読んで読んで下さい
① 優しく ② イライラして ③ 不満そうに

2 「これってなんなの」を次の①～③の感情を込めて読んで読んで下さい
① ヒステリックに ② 聞き返すように ③ ピックリして

3 次の文を戦いの場で、戦士が「つぶやく」ように読んで下さい。
「何か裏があると思えて仕方がない。静かすぎると思わないか？気持ち悪いくらいだ。」

4 次の文を弾むような「実況風」に読んで下さい。

「さあ、聞こえきました。軽快な音楽！ご覧下さい、見事なプロポーション。はじける笑顔が眩しいくらいです。」

5 次の文章を何か「たぐらん」でいる魔女風に読んで下さい。
「ヒッヒッヒッ、これで私の思うツボ。みんな、まんまと騙されたよ。」

6 次の文章を「恐れおののき」ながら読んでください。

「どうもおかしいぜ。」

「たくさんの方には、向こうがこっちへ注文してるんだよ。」

「ぼくの考えるところでは、西洋料理を、きた人に食べさせてのではなくて、きた人を西洋料理にして、食べてやるといつことなんだ。」

「それが、その、つ、り、り、り、ほ、ほ、ぼくらが……。」

「がたがたがたがた、ふるえだしてもうものがいえませんでした。」

「その、ぼ、ぼくらが、……うわあ。」

1級 声優能力認定 課題 ドラマ

タイトル 「2人で「ゴール」

問題 次の「2人で「ゴール」」を指示に従い、2分程度で演じて下さい。

登場人物

ありすじ

正夫 高校一年生 校内マラソン大会で正夫が体調の悪い翔太をかばって、2人で仲良くゆっくり走ってきたが、ラスト200mで翔太が正夫を裏切ってビリを回避しようとすると。

指示1 正夫と翔太が走りながら次の会話をしています。

翔太と翔太のセリフを声で使い分けしてください。

指示2 景気が見えるように読んでください。

正夫 「はあ、はあ」「もうすぐだぞ」
翔太 「おい、俺たち、やっぱ、ビリッケツだぞ」
正夫 「ああ、わかつてるよ」
翔太 「みんなのマラソン大会で、どちらがビリかうわさしてるぞ」
正夫 「たぶんな」
翔太 「やだなー」
翔太はピッチを上げる。
「わらいな、俺、先行くぜ」
正夫 「うわあ、待て、翔太」
翔太 「お前が一緒に走ってくれたから何とか走れたんだ」
正夫 「だいたい、お前、病み上がりなんだろ」「はあ、はあ、ああ」
翔太 「お前が一緒に走ってくれたから何とか走れたんだ」
正夫 「はあ、はあ、いまさら2人で競争したり意味ないよ」
翔太 「感謝してるぜ、ありがとうよ」
正夫 「なにに（気に）するなって」「つとも、おれたち、いつしょじやないか」
翔太 「ハツ、ハツ、ハツ（笑）」
正夫 「笑いながら走る二人。美しい夕日。ゴールが見えてくる。」
翔太 「ゴールだー！」
翔太 「おお」
正夫 「みんないるぜ、俺たちのこと見てるぞー」
翔太 「なーんか、恥ずかしいぜ」
正夫 「2人で一緒にゴールするか」
翔太 ゴール前の声援。正夫ゴールと翔太ゴール。
正夫 「でも」やつぱ俺、ビリはやだなー」
翔太 「ゆるせ、正夫」
翔太が猛烈なダッシュをかける。
正夫 「えー、待てよ、翔太」
翔太 「しかし、正夫がすぐに逆転リード」
正夫 「はあ、はあ、そははくか、それだったら、俺も負けんぞ」
翔太 「その時、ゴール直前で翔太が咳き込む。」
正夫 「うわー、翔太が立ち止まっている、その隙をついて翔太は猛烈な勢いでゴールイン。」
正夫が立ち止まっている、その隙をついて翔太は猛烈な勢いでゴールイン。
正夫が咳き込む翔太の心配をして、戻って翔太に駆け寄る。
翔太 「どうした翔太、だ、大丈夫か？」
正夫 「やつた。作戦成功、この勝負いただきー」
翔太 「うわー、それはないだろー、ううきりゅうのー」

【試験概要】

級		試験内容	標準録音時間	試験内容	標準録音時間	検定料(税込)
1級	上級	第1問 滑舌	2分	第2問 朗読1(小説)	2分	3,000円
		第3問 朗読2(詩)	1分30秒	第4問 ナレーション	1分30秒	
		第5問 ドラマ	2分			
2級	中級	第1問 滑舌	2分	第2問 朗読1(小説)	2分	2,000円
		第3問 朗読2(詩)	1分30秒	第4問 ナレーション	1分30秒	
		第5問 ドラマ	2分			
3級	中級	第1問 滑舌	1分	第2問 声の使い分け	2分	1,500円
		第3問 ナレーション	1分30秒	第4問 朗読1(詩)	2分	
4級	初級	第1問 滑舌	30秒	第2問 声の使い分け	2分	1,000円
		第3問 朗読1(詩)	2分			
5級	入門	第1問 滑舌	30秒	第2問 声の使い分け	2分	800円
		第3問 朗読1(詩)	2分			

【試験の流れ】

